

紀楳亭と横井金谷の作品

二五〇点あまりが大集合！



一回見て
面白さに気がつく
ヤミツキになる！



紀楳亭 大津絵(部分) 大津・五等所蔵

企画展

楳亭・金谷



—近江蕪村と呼ばれた画家—



横井金谷 鍾馗大臣(部分)
京都府立総合資料館蔵(京都府京都市文化博物館管理)



紀楳亭 歌中八郎(部分) 個人蔵



紀楳亭 大津絵(部分) 京都府立総合資料館蔵(京都府京都市文化博物館管理)

忙しい人にもゆるい世界。
肩の力を抜く楽しさ。

江戸時代の
ほっこりキャラがた〜ん！



横井金谷 家鴨図(部分)
草津市所蔵中神コレクション



紀楳亭 漁夫大鯰図(部分) 大津・個人蔵

平成20年
3月6日(木) → 4月20日(日)

開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日：月曜日、3月21日(金)
主催：大津市・大津市教育委員会・大津市歴史博物館・京都新聞社
後援：NHK大津放送局・FMびわ湖放送・radioエフエム滋賀
提携：MIHO MUSEUM
観覧料：一般800円(640円) 高大生700円(560円) 小中生300円(240円)
※()内は、前売、15名様以上の団体。および、大津市内在住の障害者の方の割引料金(証明するものをご提示ください)。
★前売券は、大津市内観光案内所(大津駅・石山駅・堅田駅前)、大津市民会館、ローソンチケット(Lコード58902)をはじめ、京阪津地区のおもなプレイガイドで、2月21日から3月23日まで販売

大津市歴史博物館

〒520-0037 大津市御陵町2-2 電話 077-521-2100
http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp

企画展

煤亭金谷

250点あまりが大集合——！

—近江蕪村と呼ばれた画家—

江戸時代中期、松尾芭蕉への回帰を唱え、蕪風俳諧復興に尽力した与謝蕪村は、一方で、当時、新風をもたらしていた絵画スタイル、文人画の立役者としても著名です。そして大津では、呉春とならぶ蕪村の門弟であった紀煤亭(九老、1734~1810)が、人々に請われて多数の作品を描いていたほか、蕪村に私淑した横井金谷(1761~1832)が坂本に庵を結び、地元にも多くの作品を残しました。それは彼らが非常にユニークな人物であったため評判を呼んだものと思われます。近江蕪村と呼ばれる彼らですが、蕪村風以外の、彼らの個性あふれたユニークな作品が数多く残っている点も、単なる弟子や追随者にとどまらない彼らの活動を物語っています。そのためか、現代においてもなお評価は高く、海外でも愛好され、作品が収集される文人画家となっています。

本展では、大津の人々に愛された煤亭・金谷の作品の数々を、これまでにない250点あまりの

規模で、地元にも伝わる作品を中心に、国内外から発掘し、自由でとらわれない文人精神を十分に発揮した彼らの画業を概観すると共にユニークな人物像も紹介します。

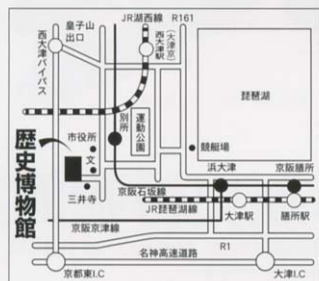


紀煤亭 大津絵見立て忠臣蔵七段目 個人蔵



紀煤亭 秋草双狼図(部分) 大津市歴史博物館蔵

★前売券は、大津市内観光案内所(大津駅・石山駅・堅田駅前)、大津市民会館、ローソンチケット(Lコード58902)をはじめ、京阪大津地区のおもなプレイガイドで、2月21日から3月23日まで販売



京阪電鉄石坂線別所駅より徒歩5分
JR湖西線西大津(大津京)駅より徒歩15分
JR琵琶湖線大津駅よりバス10分別所下車
無料駐車場(乗用車約70台)

大津市歴史博物館

〒520-0037 大津市御陵町2-2 電話 077-521-2100
<http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp>



横井金谷 蜀棧道図 個人蔵



横井金谷 美人図 個人蔵



横井金谷 月下清助居士草庵図(部分) 白澤庵蔵



紀煤亭 傲王維雲煙幽林図 個人蔵



与謝蕪村「花の香や」自画賛 MIHO MUSEUM蔵

煤亭・金谷をご覧になられたら与謝蕪村も！
与謝蕪村—翔けめぐる創意—
平成20年3月15日(土)~6月8日(日)

MIHO MUSEUM
TEL. 0748-82-3411

企画展「煤亭・金谷」の入館チケットの半券、または「れきはくカード」を提示すると割引料金(大人1000~800円)でご観覧いただけます。